

国語科学習指導案

日 時：平成 23 年 10 月 6 日（木）5 校時

対 象：滝沢村立柳沢中学校 第 3 学年

（男子 5 名 女子 2 名 計 7 名）

指導者：松岡 美喜

1. 単元名 話し合って考えを深めよう～パネル・ディスカッション～

2. 学習材名 話し合って考えを深めよう～パネル・ディスカッション～（国語 3 / 光村図書）

テーマ 「生き物の世界に科学技術はどこまで必要か」

資料 DVD 「新しい国語 音声言語活動編『パネル・ディスカッション』」（東京書籍版）

3. 単元について

（1）生徒観

生徒はこれまで、読み物教材から発展させたディベートや、総合的な学習の時間でのプレゼンテーション等で自分の考えをまとめ、発表することを体験してきている。また、3 年生の 1 学期には『相手を意識して伝えよう』という学習材で、相手・目的による言葉の言い換えや情報の再構成の必要性を学んでおり、「表現」する際に気を付けるべき点は概ね理解できている。

しかし、他者から表現を学び、それを取り入れてより良いものに高めるという点、説得力のある意見にするための発言内容の吟味については意識が低く、未だ課題である。

（2）学習材観

第 3 学年「話すこと・聞くこと」の指導事項として「ア. 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。」が挙げられている。そこで、パネル・ディスカッションを行い、相手を説得するために意見を述べ合う活動を設定した。パネル・ディスカッションは、それぞれの立場から意見を述べるとともに、それに対して質問をしたり、自分の意見を発表したりして、考えを深めることを目的とした言語活動であり、生徒達にとっては初めての経験でもある。生徒達は、この学習を通して話し合いの新しい形式を知るとともに、説得力のある主張の仕方、話し合いへの主体的参加の仕方を学ぶことができると考える。なお、今回のパネル・ディスカッションで取り上げるテーマは、「社会性のあるもの」「意見が 3 つ以上に分かれるもの」という観点で選んだ。

（3）指導観

ア. 指導のねらい・工夫

まず、資料 DVD を用い、パネル・ディスカッションについて具体的にイメージさせる。ただし、視覚的效果ではなく発言内容による説得力の有無に注目させるため、音声のみの提示とする。次に、各自で自分の意見を支える情報・資料を収集、整理し、論を組み立てる。その後、同じ意見の者同士でグループを作り、互いの論を持ち寄ってグループとしての発表メモを作る中で、発言内容を吟味させる活動を取り入れた。パネル・ディスカッションでは、パネリスト同士の意見交換に続いて全体討論が行われるが、それを活発にするためには、フロアも自分の考えを明らかにしておく必要がある。そこで、少人数の良さを生かして全員がどれかの立場に

入るよう、こちらであらかじめ2～3人のグループに分けて立論するように仕組み、パネリスト以外にも自分の考えをしっかりと持たせて、全体討論への参加姿勢へとつなげたい。なお、パネル・ディスカッションの様子は映像として記録し、効果的な話し合いの仕方を客観的に振り返らせる。

また、この単元に入る前には「説得力のある文章を書く学習」をしており、既習事項として「説得力」を生み出す観点を生徒から引き出したい。さらに、単元の学習後には論説文を学習する予定であり、その根拠の示し方について本単元と関連させながら読み深めたいと考える。

イ. 研究との関わり

「伝え合う力」を育成するための手立て

ここでは、第3学年「話すこと・聞くこと」の指導事項「ウ 話し合いを通して考えを深めたり表現に生かしたりする」に重点を置き、言語活動例「イ 社会生活の中的话题について、相手を説得するために意見を述べ合うこと」として、パネル・ディスカッションを行う。この言語活動を通し、どうすればより説得力のある主張ができるのか、何に気を付けて発言すれば話し合いがより効果的に進むのか、意見交換したり活動を振り返ったりする中で、「伝え合い」の力を育成できると考える。また、ここで培われた力を各教科や領域、活動でも横断的に活用したい。

4. 単元の評価規準

- ・社会生活の中的话题に関心をもち、課題の解決に向けて積極的に話し合い、互いの意見や考えを生かそうとしている。【関心・意欲・態度】
- ・相手を説得するために、根拠を明確にしたり、聞き手の理解を助ける工夫をしたりしている。【話すこと・聞くこと】
- ・他の人の意見のよいところを指摘したり、調整の仕方を提案したりしながら、自分の意見を見直したり深めたりしている。【話すこと・聞くこと】
- ・建設的に話し合えるよう、敬語など言葉遣いに注意している。【言語についての知識・理解・技能】

5. 学習指導計画（全6時間）

第1次 パネル・ディスカッションするための学習の見通しをもつ。（1）

- ・パネル・ディスカッションについて、イメージをもつ。…………… 1

第2次 効果的に意見を主張するための準備をする（3）

- ・自分の主張の根拠となる資料・情報を収集する。…………… 1
- ・収集した資料・情報について整理し、発言の構成を考える。…………… 1
- ・同じ意見をもつグループで発表メモを作り、説得力のある内容か吟味する。… 1（本時）

第3次 パネル・ディスカッションを行い、振り返る。（2）

- ・パネル・ディスカッションを行う。…………… 1
- ・学習を振り返り、よりよい話し合いについて意見交換する。…………… 1

6. 本時の指導

（1）目標

- ・説得力のある表現について、観点に沿って意見交換し合おうとする。【関心・意欲・態度】

- ・聞き比べて気づいたことをもとに、自分達の発言内容を吟味している。【話すこと・聞くこと】
- ・相手に応じた語彙や言葉遣いを考えている。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

(2) 展開

段階	主な学習活動	○留意事項◎評価【観点】《方法》
導入 3分	1 本時の学習の流れと課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">話し合いを通して、より説得力のある発言内容にしよう。</div>	○留意事項◎評価【観点】《方法》 ○前時の学習を簡単に振り返る。
展開 42分	2 説得力のある文章の書き方について、観点を共有する。 (主張の形で書く／客観的な根拠を挙げる／反論を予想する／構成を考える) 3 パネリストの発言の仕方のモデルを聞く。 A 専門用語をそのまま使ったものと、わかりやすく言い換えたもの。(語句の選択) B 根拠の優先順位を入れ替えたもの。(論理的構成) 4 それぞれの発言の良し悪しと理由を発表し、説得力のある発言について、観点を共有する。 (聞き手に合った語句を選択する／論理的な構成を考える) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 5 グループで話し合い、内容を吟味しながら発言メモを作る。 </div> ①互いの発言を聞き合い、評価する。 ②取り入れたい根拠、根拠の優先順位、言葉遣いなどについて意見交換しながらメモを作る。 ③出来上がったメモをグループ内で聞き合い、評価する。 ④自分たちのグループへの質問・反論を想定し、回答を練る。	○意見文学習を想起させ、説得力ある文章にするための観点を出させる。 ○教師が作ったモデル文を読んで聞かせる。 ○話型を使って発表させる。 「○○です。理由は～です。」 ○グループで一つの発言メモを作らせる。 ◎観点に沿って意見交換しようとしているか。【関心・意欲・態度】《観察》 ◎観点に沿って話し合い、発言内容を吟味しているか。【話すこと・聞くこと】《観察・シート》 ◎相手に応じて語彙や言葉遣いを考えて話しているか。【言語】《観察》
終末 5分	6 学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">観点に沿ってうまくアドバイスできた(考えた／順序を入れ替えた等)。そうすることで、自分のグループの意見が説得力のあるものになったと思う。</div>	○主張の仕方の修正に有効だった他の人の意見について触れる。

(3) 評価規準

観点	A：十分満足できる（例）	B：おおむね満足できる	Cの生徒への手立て
関心・意欲・態度	観点に沿って意欲的に聞いたり話したりし、互いの意見や考えを生かそうとしている。	観点に沿って聞いたり話したりしようとしている。	観点をカードで提示し、確かめながら聞いたり話したりできるように支援する。
話すこと・聞くこと	観点に沿って話し合い、優れた所を指摘したり、調整を提案したりしながら、発言内容を吟味している。	観点に沿って話し合い、根拠の優先順位を考えたり、言葉遣いを見直したりしている。	根拠となる資料や、発言の構成例を示しながら、違いに気付かせる。
言語についての知識・理解・技能	相手の反応を確かめながら、語彙や言葉遣いを考えて話している。	場に応じた語彙や言葉遣いを考えて話している。	モデル文を用い、語彙や言葉遣いの違いで相手に与える印象の違いに気付かせる。